

医療

健康



清川義克教授



清川泰克醫師

骨を用いたものも昔の骨再生は、形成外歯と歯科の技術が融合して初めて可能になった。既に骨再生は、歯科治療の技術で、「歯科再生技術」として、骨再生が進んだ歴史がある。その歴史は、骨再生技術が生まれたときに始まる。骨再生技術が生まれたときに始まる。

可能性を広げた 異分野スクラン

骨を用いたものも昔の骨再生は、形成外歯と歯科の技術が融合して初めて可能になった。既に骨再生は、歯科治療の技術で、「歯科再生技術」として、骨再生が進んだ歴史がある。その歴史は、骨再生技術が生まれたときに始まる。

良性腫瘍や外傷にも有効

「自分の歯でかむ喜び」を守る



骨を用いたものも昔の骨再生は、形成外歯と歯科の技術が融合して初めて可能になった。既に骨再生は、歯科治療の技術で、「歯科再生技術」として、骨再生が進んだ歴史がある。その歴史は、骨再生技術が生まれたときに始まる。

互いの専門技術生かす

骨を用いたものも昔の骨再生は、形成外歯と歯科の技術が融合して初めて可能になった。既に骨再生は、歯科治療の技術で、「歯科再生技術」として、骨再生が進んだ歴史がある。その歴史は、骨再生技術が生まれたときに始まる。

患者の骨髄であごの骨再生

良性腫瘍や外傷にも有効

久留米大・清川義克教授らが確認
「良性腫瘍や外傷でも骨再生可能」
久留米大の清川義克教授(左)と清川泰克醫師(右)が、久留米大附属病院で開催された「第3回歯科再生技術セミナー」で講演する。

久留米大の清川義克教授(左)と清川泰克醫師(右)が、久留米大附属病院で開催された「第3回歯科再生技術セミナー」で講演する。